グローバル人材の素養



株式会社 グローバルプラン 岡村治男 okamura@globalplan.jp

自己紹介

サラリーマン NTT研究所—NEC事業部ー(米国)コーニング社で光通信技術の研究開発

フリー

- (1)ジョイオブワークの伝道(日本的価値観の再確認)
- (2)世界の情報格差の解消(細径、強靭な光ケーブル標準化と投入へ)



いま、仕事上の問題を楽しみながら発掘、解決 できる人材(日本人の場合)に必要なものは



世界の中の日本の理解

問題発掘、解決力

日本的価値観の再発見(1)

・ 釈尊のさとり みんな繋がっている



対極

人間の理性を信頼 求道/自己実現

ブッシュ: Bring him into Justice (フセイン) オバマ; Justice has been done (ビン・ラディン) ナチス vs ドイツ国民

正義と悪の二極構造

日本的価値観の再発見(2)

温暖な狭い土地で多くの人が定住し、長年継続する歴史の中で共生の知恵を紡ぎ出した

日本

究極指向 富の追求の戒め 信用の尊重



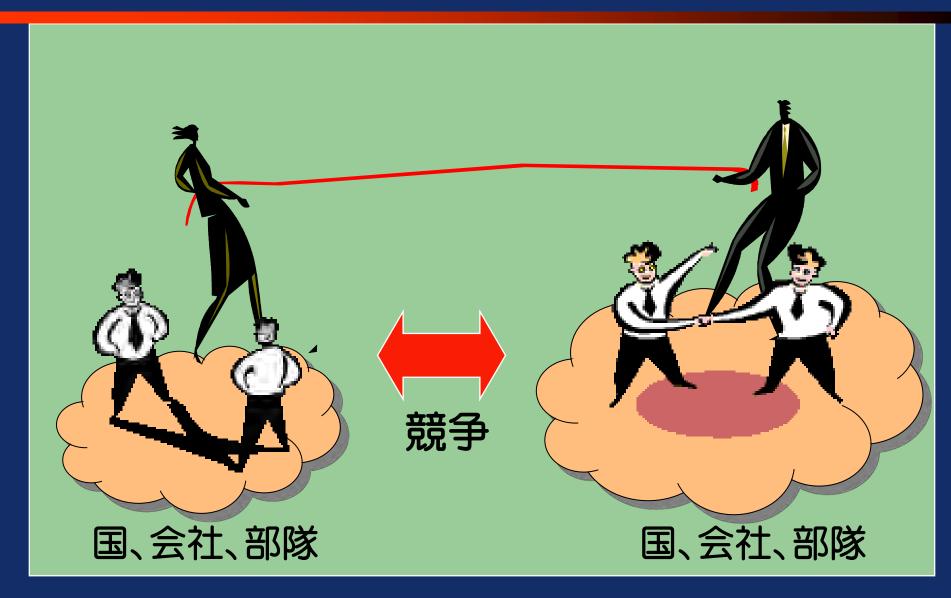
諸外国

合格指向 富の追求の奨励(キリスト教) サバイバル優先(嘘も方便)

狭くなった地球で共に生きるノウハウ 人間尊重・協調・全体最適・ばらつきの許容

競争と協調の理解

問題発掘、解決の核心



競争(成果主義・能力主義)の本質

部下を育てない、 できる人 は出世できない 仕事の質より 相手の動き、勝敗 が気になる

負ける恐怖 に支配される

勝ちに結びつくことだけける

自尊心 が崩壊→質の低下

相手が解決済みの問題に

必死に取り組む。失敗を隠す。

数值目標管理(目標達成)

人間尊重?協調?全体最適?ばらつきの許容?



協調の例

データを(隠さないで)持ち寄って速く走るメカニズム(普遍的な原理)解明

鍛えるべき筋肉が判った

ももあげる高く→早く

記録の大幅な底上げが起き、日本の短距離は黒人についで2位になった

いま、仕事上の問題を楽しみながら発掘、解決 できる人材(日本人の場合)に必要なものは

世界の中の日本の理解



問題発掘、解決力

米国の医療現場の問題解決力

日経ビシネス 2009, 7.29

・年5-10万人(US)が医療過誤死→システムの変革を開始

米国医療改善研究所(1991)

創設者 Dr. Don Berwick "起源は日本(トヨタ)の考え方"

工夫の例:

医師の手術日、休暇の偏りを平均化→急患拒否が激減 医師の部屋を院内中央にまとめた →医療ミスが激減

教訓を国で共有。毎年、6000人の総会でカイゼンを話し合い



・日本のサービス産業でボトムアップのカイゼン、変革の リーダシップをとれる人材の育成が重要

今、職場では何が問題か、どうしたいか 日本のビジネス界: 社員の意見

不満

YAHOO 知恵袋 ベストアンサー

- 1. システムが古い、実態に合わない
- 2. 更新計画を立てても予算がなく、改善できない
- 3. 自分の仕事で一杯、周囲に目が届かない。
- 4. ベテラン組が手を抜く。若手の改善意欲が不足。
- 5. 一番やりたい仕事に着手できない
- 6. 責任の所在が曖昧、自分から情報を得ようとしない

どうしたい

- 1. 成長、自分の価値を向上したい
- 2. 充実感を得たい
- 3.良い給与がほしい

問題発掘、解決の例(2)

人間尊重、協調、全体最適、ばらつきの許容

女子社員のトイレ回数多い、時間が長い エレベータに鏡をつけたら回数も時間も減った

トイレのペーパータオルが溢れて散乱している 掃除のタイミングを変えたら散乱がなくなった

部下の仕事の様子が掌握できない もっとよいやり方はないか?と常に聞いて回り、良い提案は 全員へすぐ伝達した(社内放送、課長メール)

毎日おなじことの繰り返しが多く自分の成長が実感しにくい 日々、改善する習慣を実行した

まとめ

- ◎日本は奇跡的に長い歴史のフィルターにより協調・全体最適・ 人間尊重の価値観を紡ぎだした。
- ◎グローバル化の波に翻弄されない教養を積み、日本の真の価値を理解しよう
- ◎日本の価値観によって問題を発掘し解決できる人材になろう

日本はプラネットアースを守るべき国

問題解決の実際

- ジョイオブワーク 日経BP
- ・ 即戦力の人心術 三笠書房
- ・ 競争社会を越えて 叢書・ウニベルシタス